



2020-2021 年度
6月号
NO. 381

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

評価

国際会長：Jacob Kristensen(デンマーク) 主題:「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長：David Lusa(ツガポール) 主題:「変化をもたらそう」
東日本区理事：板村哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：柿沼敬喜(東京グリーン) 主題:「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
東京ひがしクラブ会長：須田哲史 主題:「持続可能な未来を創ろう」

6月例会(納会)

と き 2021年6月24日(木)
18:30~20:00
※Zoom 例会

★プログラム

開会点鐘 会長 須田哲史
ワイズソング/信条
会長挨拶
今月の誕生日・結婚記念日
今期を振り返って(それぞれの一年)
各種報告
閉会挨拶 会長 須田哲史

「明るく楽しい未来を創ろう！」の一年

須田哲史



百年に1度の天災=コロナ禍にあって、皆様は、非常に苦難の多い毎日だったと思います。コロナ不況による企業活動の停滞、ステイホーム中心の閉ざされた日常生活、自身や家族の病との闘い…。大変な一年でした。私自身、会長就任の7月から、母

の入院、看病・看取り・葬儀。サラリーマン生活の終了と続き、変化の激しい1年でした。そんな中、少しでも、皆さんの心の拠り所となり、「誰も置き去りにしない社会作り」とこれからのひがしワイズの未来を見据え、会長主題は「持続可能な未来を創ろう」~明るく楽しい未来を創ろう~として、「SDGs(持続可能な開発目標)」を活動方針の中心に据えました。最初は、この言葉の意味も、読み方も知らなかったかもしれませんが、今は、いかがでしょうか。

環境整備活動の一環で、クラブ倉庫の断捨離、下町子どもダイニングで利用している厨房で使うクッキング備品の整備、グリストラップの錆びついた鉄板蓋の交換が行われました。東陽町センター周辺の菜園化活動は、金丸メン、飯田メン、沖主事が中心となって整備され、来訪者や近隣住民の和みの場になりました。

(2頁へ)

🕊 今月の聖句 🕊

『あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなた方を遣わす』

—ヨハネによる福音書・20章21節—

5月例会

出席者 11名 ゲスト1名
会員出席数 10名
在籍数 13名
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 67%

スマイル

5月 2,000円
累計 37,000円

2020-2021 年度役員

会長 須田哲史
副会長 高野真治
書記 金丸満雄
会計 千代一郎
担当主事 沖 利柯

また、この野菜栽培のおかげで、旬な食材を収穫でき、下町子どもダイニングの料理に提供できるまでになったことは、循環型活動の見本になりました。コロナのため、下町子どもダイニングも、子ども達との交流のある食事提供ができなくなりましたが、徹底した衛生調理管理された弁当提供方式に変更。活動を絶やさぬように、活動を続けました。これがご縁で、江東区で行っているフードパントリーにも、参加することになり、同じような子ども食堂活動を行っている団体と一緒に、母子家庭で利用できる食材を集め、各ご家庭に配布する活動に参加ができるようになった事も収穫です。

アフターコロナを見据えた、新しいウィズの日常活動の創造として、3密を避けた例会もできるように、LINE グループの活用や zoom プロも導入にされ、いつでも、どこでも会議ができるようにしました。毎日のLINE グループの書込みコールで目覚め、例会も絶やさず実施。9月の東京 Y のチャリティーランにもアプリを利用して参加、5月の館外旅行の代わりに行った、飛騨高山バーチャル zoom 旅行など、苦しい時にこそ、創意工夫して活動することで、ひがしウィズらしい活動が展開できました。

会長として、力不足の1年でしたが、あらためて一緒に活動していただいた皆様に、感謝申し上げます。

5月例会(zoom)

竹内 聡

5月29日(土曜日)14時30分から例会を二部構成で開催した。一部は、初めてトライしたオンラインツアーです。「名物ガイドと行く! 古都・飛騨高山 散策ライブツアー」45分のプライベートツアーを行なった。高山の古い町並みは国選定重要伝統的建造物群保存地域になっている。城下町として栄えたこの町並みは、時代劇からそのまま飛び出した町並みそのもの。

ツアーコースは古い街並みを通り宮川に架けられた中橋(赤い橋)を渡り陣屋までです。古い町並みは古民家を改装した店舗が軒を連ね、町並みには酒造が7軒



ある。ガイドから初代高山城主金森長近の藩政時代の話聞きながら、道路両脇に電柱が無い理由が話された。高山祭の屋台12台(山王祭)を通すために道路を横断するケーブルがないことを知る。祭の起源は金森時代から始まり屋台の起こりはその後、巧みな人形の動きを披露するからくり奉納や、仕掛けが施された戻し車などが練り歩く屋台を熱っぽく話された。飛騨人になれないが江戸っ子の意気がガイドの画像を見ながらはしゃいだ。最後は幕府直轄領として、代官所だけでなく飛騨国の豊富な山林資源を管理した「高山陣屋」の

話を聞いた。楽しい45分を過ごした。

第二部は、5月28日に行われた東日本区法人化(案)検討委員会の説明会報告について、会長並び参加者が意見を述べた。クラブとして多数の意見が話されたことは非常に良いことです。最後に東日本区全ての会員が東日本区法人化(案)について目的を理解し定款の検討を行って欲しい。

YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

▼第6回ドリームキャンプ開催

5月3日、三菱商事と東京YMCAが共催し、「第6回ドリームキャンプ」を開催しました。このキャンプは、障がいのある子どもたちが様々な種類のスポーツを体験できるよう、その機会を提供するとともに、アスリート等との交流を通してより前向きな生活が送れるように励ますことを目的としています。毎年開催していますが今回は初めてオンラインで実施し、7家族が参加しました。ゲスト講師として元車いすバスケットボール日本代表の根木慎志氏と堀江航氏を招き、新聞紙で作ったボールを用いて一緒にゲームをしたほか、バスケットボールのデモンストレーションや選手への質問タイムなど、楽しいひとときを過ごしました。

▼第18回会員大会報告

5月22日、「第18回会員大会」が「コロナ禍でのYMCAを考える」をテーマに、オンラインで開催され70名が参加しました。第一部の開会礼拝に続き、第二部では2021年度の会員部運営委員として21名が推挙され、また名誉会員として推挙され表彰を受けた田中壽夫氏と丹羽芳雄氏から一言ずつご挨拶をいただきました。また昨年度「Volunteer of the year」を受賞したチャリティーゴルフ実行委員会と、今年度「Youth Volunteer of the year」を受賞した5名のユースリーダーが紹介され表彰されました。続いて菅谷淳総主事より昨年度の東京YMCAの活動について報告がありました。第三部では関田寛雄牧師の「日本YMCA大会」時の講演内容を共有した後、いくつかのグループに分かれて交流を兼ねた分団協議を行いました。最後に、会員の加藤祐一氏にご指導いただき、災害等非常時に役立つ新聞紙を用いた「カトー折り」を体験しました。

▼今後の主な行事日程

- ・第24回会員芸術祭

6月28日～7月3日 YMCAホール

- ・「長崎原爆被災写真」パネル展

7月7日～16日 東陽町センターロビー

★今月の誕生日

今井一夫メン(9日)

高野真治メン(26日)



コロナ禍の一年を振り返って

沖 利柯

未だかつてない事態に遭遇している！その危機感と感性を研ぎ澄ます機会だと前向きに捉えて毎日を過ごしています。コロナ禍で見えてきたことを今後のYMCAでの仕事や自分の生活に生かしていきたいと思います。皆様に会えなかったり、楽しい時間が減ったのは残念でしたが、会えなくても繋がっていると実感できるLINEの交換、Zoomなどさまざまな機会を与えていただき有難うございました。もう少し、気を抜かずに過ごしたいと思います。

野澤一弘

弧舟(渡辺淳一著)木の内容は定年退職し、悠々自適の生活を過ごそうとしている男性が、思うようにいかない老後に悩み、あがきながら一艘の舟として漂っているという筋です。私は上記の小説を読みながら、私自身の解決方法として、ワイズのクラブに再入会の形を取りました。その間約20年ほどのブランクがありましたが、今はやりの無料のLINEという通信手段で生きたひがしワイズメンの声が聞かれ、日常生活を過ごしております。感謝です。

竹内 聰

今年も新型コロナウイルス感染で例会が出来なかった。LINEで情報交換を行っていたが、例会をZoomで行うことにした。最初は操作に慣れなく時間を費やしたが、操作に慣れると簡略した例会が続けられた。ゲストの卓話、オンラインツアーに興じたりして、毎月の例会を楽しく過ごした一年でした。

高野真治

新型コロナウイルスが拡大する中、マスク・消毒液を求めて動き回っていました。東京に緊急事態宣言が出されると大型商業施設が休業となり各種のイベントも中止となりました。そんな中、休業中に施設の全面改装という仕事が舞い込み、感染対策をしての作業になりました。作業中は密にならないように間隔をあげマスク着用。板橋のスーパー銭湯でしたので通いの車にはクレベリンと消毒スプレーを積み、事務所には紫外線殺菌消毒器置き、家にはオゾン空気清浄器と空気清浄機おいての生活をしました。我社も2か月以上の休業状態が続くとやる事がなくて気が滅入ってきます。ひがしのラインのやり取りには本当に元気をもらいました。有難うございました。

千代一郎

この一年は新型コロナウイルス対応の影響で、いつもの例会は半分以上がZOOM例会になり、自分の技術対応力不足のため、参加頻度が減少したことを深く反省しています。SDGSの目標3「すべての人に健康と福祉を」に沿って、一日も早く新型コロナが終息することを心より祈念いたします。

飯田歳樹

21年度は、YMCAに畑を作り、ナスやトマトなどの野菜を収穫し、皆で食べました。汗をかき成長を眺めながらの作業はとても有意義でした。そんな中、長年の喫煙が影響してか肺の病気が発覚し、4か月の抗がん剤治療が始まりました。コロナ禍で面会謝絶の入院生

活でしたが、家族やひがしのメンバーが毎日LINEで温かいメッセージで励ましてくれ無事退院できました。改めて、健康の大切さと友の優しさを実感した年でした。

金丸満雄

コロナ禍の中でスタートした今期。ワイズ活動そしてYMCAプログラムがことごとく中止となった。そして、この影響でやむなく退会した仲間もあり、辛抱と忍耐の淋しい一年であった。その様な中、新しいふれあいのアイテムでひがしメンバーはつながった。早朝の挨拶から情報交換・健康通信・趣味の場等マスタンプ交じりのLINE。そして、戸惑いがあったZOOMも回を重ね、スムーズに行われるようになり元気な様子が確認された。コロナで、対面できないもどかしさと淋しさでストレスが溜まった一年であった。

+++++

ひがしクラブ今期の活動

- 7月9日：7月例会（総会）出席者12名
- 7月18日：第1回関東東部評議会（船橋）
7月18日：千葉ワイルドクラブ 設立総会（船橋）
出席：鮎澤・金丸・須田・千代
- 8月9日：ZOOM例会（初めてZoomによる例会）
8月25日：東京YMCA夏まつり中止
- 9月7日：災害スタディ
9月23日：東京YMCAチャリティーラン中止
※バーチャルランに変更
- 10月3日：第24回関東東部部大会（浅草橋）
※飯田さん国際ブースター賞授与
10月3日：千葉ワイルドクラブ チャーターナイト（浅草橋）
出席：鮎澤・飯田・金丸・須田・千代
- 10月8日：10月例会（講師 鈴木登志男氏）
- 10月18-19日：江東区民まつり中止
- 11月9日：江東YMCAバザー中止
11月14日：11月例会（講師 松浦隆夫氏）
11月16日：第2回関東東部評議会（ハイブリッド）
- 12月12日：クリスマス例会（Zoom）
12月15日：東陽町オープンハウス中止

2021年

- 1月14日：新年例会（Zoom）
1月10日：在京ワイズ合同新年会中止
- 2月10日：TOF例会（Zoom、講師 光永尚生氏）
- 3月7日：第27回ピースウォーク中止
3月11日：3月例会（Zoom）
3月28日：関東東部 EMC を考える集い（Zoom）
- 4月8日：4月例会（Zoom）
4月17日：第3回関東東部評議会（Zoom）
- 5月29日：5月例会（ZOOMによるライブツアー）
※古都・飛騨高山名所ライブ散策
- 6月12日：第24回東日本区大会（Zoom）
6月24日：引継例会（Zoom）



◆◇ 2020-2021 年度のスナップ ◇◇



会長引継ぎ (7月)



8月例会 (ソーシャルディスタンスで)



国際表彰授与 (10月)



2月 Zoom 例会 (ピンクシャツデー)



2020-2021 年度
ひがしクラブCS・Yサ活動

環境整備
下町子どもダイニング
フードパントリー

